

農業振興のための とても頼りにできる施設 それが農村環境改善センターです



これが藁で縄をなう機械でね、こんなふう
に藁を通すと・・・縄ができるんだよ。と大野所長

REPORTER'S EYE



【リポーター】
諸口 仁美さん(青柳)

リポーターズアイでは、行政のし
くみや話題性のあることから、市
内のいろいろな施設などを、市民
のかたがレポートします。

さまざまな農業団体が 楽しく活用しています

私は高校を卒業してから、農業後
継者や就農した若者で構成されてい
る「狭山4Hクラブ」に入っています。
初めは「どんな活動をしているんだ
ろう。」と不安でしたが、4年目を迎
えた今では、4Hクラブの人たちと
もとても仲良くなり、毎回楽しく活
動しています。今回は、私たちのよう
な農業をしているかたにとって、と
ても身近で親切な施設「農村環境改
善センター」におじゃましました。

結婚相談まであるなんておどろき
ですね。大野所長は、「農家に嫁ぎた
いかたは、ぜひご相談ください。」と
のことでした。

私は実際に、中学卒業ぐらいから
就農の勧誘のがきをいただいていた
ましたし、就農予定者が参加できる
イベントなども企画していただき、
楽しく参加しました。また、団体が企
画するイベントのお手伝いなどもし
てくたさいます。ほかに、小学生が
年に1度社会科見学として、資料館
を訪れたりするそうです。資料館に



この機械で藁玉を作っていたんですね



ピアノの前で朗らかに市歌を歌う関口先生
レッスンのときもこんなふうにご歌って、
歌うことの楽しさを教えてください

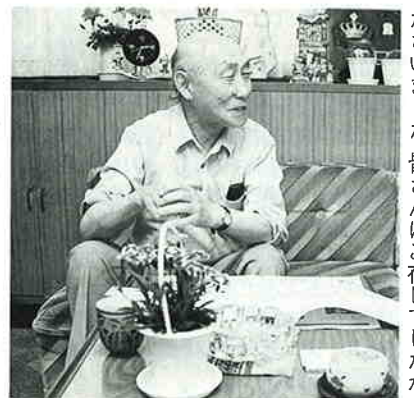
明るくのびのびしたメロディーで
みんなが夢や希望を持てる
そんな市歌づくりが目標でした



関口 重夫さん (市歌作曲者)

狭山市の代表的な歌である市歌、
皆さんどこでお聞きになったこ
とがあるのではないのでしょうか。こ
の市歌は、昭和49年の市政施行20周
年の記念として作られたものです。
今回は、市歌を作曲した、笹井の関口
重夫先生をご紹介します。

関口先生は、現在もご自宅で作曲
活動をされるかたわら、市内だけで
なく市外の公民館などにも出かけ、
歌唱指導などをされています。ご自
宅で軽やかにピアノを弾きながら、
朗々と歌う様子は、本当に清々しく、
市歌を作曲した時もこんな様子だっ
たのかと思わせてくれます。また、各
地を飛び回るような忙しい生活を
されているにもかかわらず、常に
ご自身の向上心のための研究なども
怠らずに「得た知識を周囲の人たち
にも分け隔てなく、楽しく教えてく
ださるのです。」



先生に、歌を歌うときの注意点を
うかがうと、「狭山市のかたは、どな
たも覚えが早くて音感が良いんです。
ですから、まずは声の正しい出し方
を知ってもらうことが大切ですね。
どなたも良い素質をお持ちなので、
教えるのもとても楽しいですよ。」と
のことでした。

にこやかにお話をしてくださる関
口先生に、今後の抱負をうかがうと、
「やはり作曲を続けたいですね。誰も
が優しい気持ちで歌える、地域に密
着した歌を作ってもっともっと音
楽に親しんでもらいたいです。中央
にはない、地方独自の身近な歌を目
指したいですね。」とのことでした。
現在、7月に市民会館で開催される
コンサートに余念がない先生。
きつと、身近で楽しい曲ばかりの、だ
れもが親しめるようなコンサートに
なることでしょう。



▲これが私たち
4Hクラブでお
借りしている畑で
す。と諸口さん

は養蚕や縄のないの機械など古い農
作業用の道具が保管されていて、昔
の人たちがどれ程物を大切にしてい
たかがよく分かります。そして、養蚕
の繭玉なども見られます。

また、センターでは一般市民向け
の自主事業も開催していて、狭山で
とれた野菜を使った料理教室や、体
育館を利用したエアロビクス教室な
どを毎年行っています。料理教室で
は、私たち4Hクラブもお手伝いを
させていただけますが、農家の人と
一般の人がふれあうよい機会であ
る。いろいろな世間話などの中から農業に
対する理解を深めていただければい
いな、と思っています。

狭山の農家の人たちは、みんなと
ても元気で、特に若い人たちは、い
きいきと自分の仕事に誇りを持って、
毎日勉強しています。こんな狭山の
農業を担っていく人たちの強い味方
である農村環境改善センター、これ
からも上手に活用して、狭山の農業
をもっと発展させたいですね。

私の趣味

版画



小松艶子さん(上広瀬在住)

私は10数年前に狭山市に引っ越して
来ました。自宅近くに広瀬公民館があ
り、生涯学習のためにと思って版画の
初心者講習に参加し、その後発足した
版画の会にも入らせていただきました。
もともと手先を使う仕事が好きで、版
画の作業は向いていたのでしよう。良
い先生と周囲の温かい人々に囲まれ、
素晴らしい環境の中で助けていただき
ながら一生懸命続けてきて、80歳の記
念個展を開くことができました。公民
館での個展も無事終了し、次回は京橋
で9月から10月にかけて開催します。
私はいつも前向きな考え方をし、身体
も心も健康に過ごせるよう、心がけて
います。「生きる」という気持ちで暮ら
すのが、心も身体も健康に過ごせる秘
訣だと思っています。

これからは狭山市の素晴らしい人情
味あふれる土地柄、自然の恵みの中で、
優しい穏やかな気持ちで作品を作り続
け、周囲の人々に恩返しをしながら生
きていきたいですね。